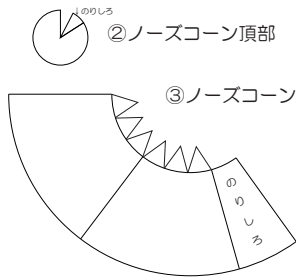
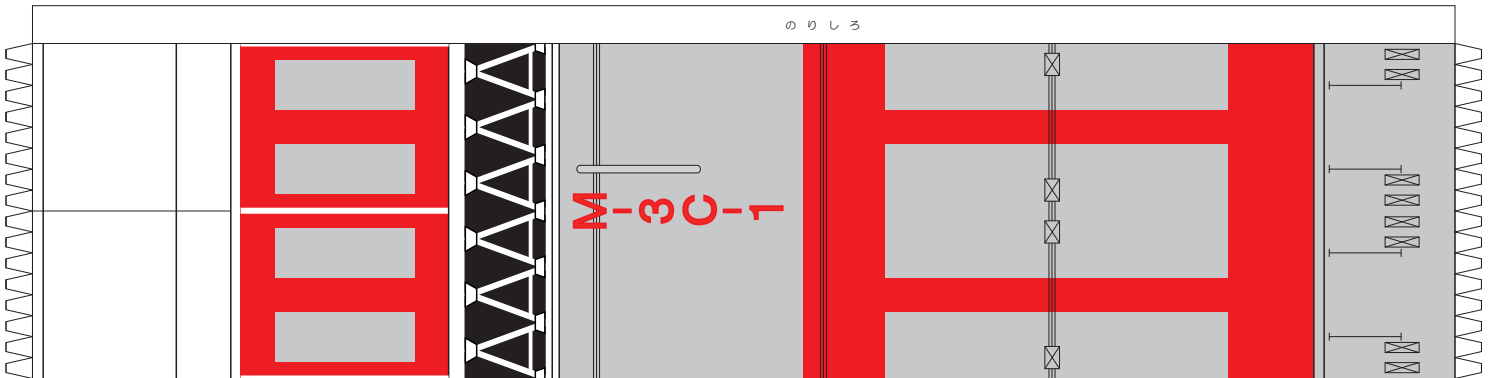


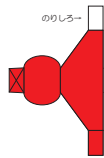
M-3Cペーパークラフト scale 1/100

(C) FUKUDA Planning 2005 Ver.1.1.1

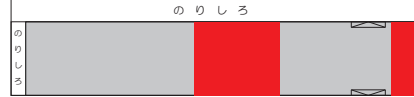
①M-3Cロケット本体



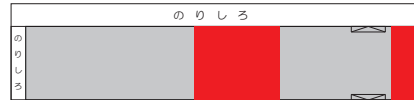
④ブースター頂部



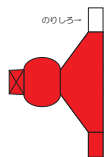
⑤ブースター



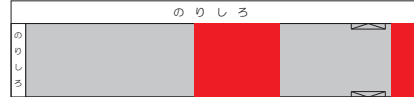
⑤ブースター



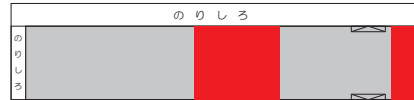
④ブースター頂部



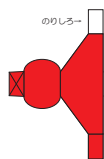
⑤ブースター



⑤ブースター



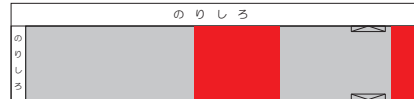
④ブースター頂部



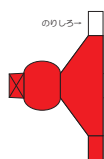
⑤ブースター



⑤ブースター



④ブースター頂部



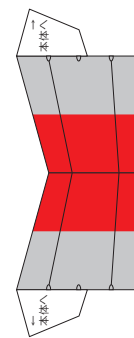
⑤ブースター



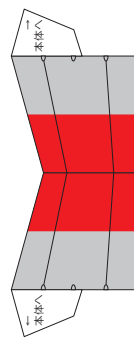
⑤ブースター



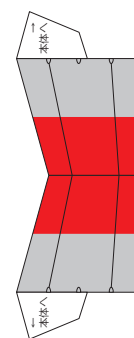
⑥尾翼



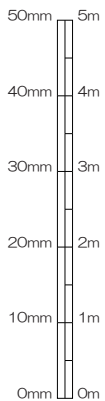
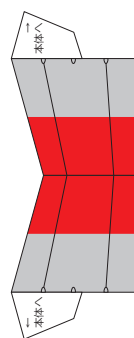
⑥尾翼



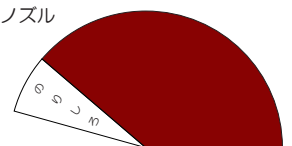
⑥尾翼



⑥尾翼



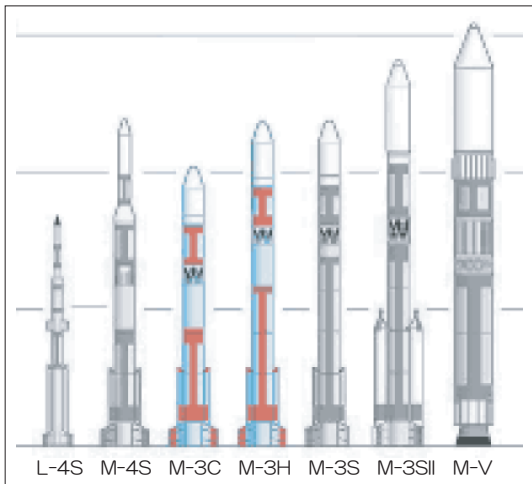
⑦ノズル



M-3C・M-3H ペーパークラフト

ミューロケットは、現在のJAXA宇宙科学研究本部の前身に当たる、東大宇宙航空研究所（のち文部省宇宙科学研究所）の開発したロケットです。

このペーパークラフトで取り上げているM-3Cはミューシリーズの第2世代で、初代のM-4Sより2・3段目を強化して3段式とし、2段目に飛行制御装置を装備したものです。その改良型であるM-3Hは、1段目を延長して衛星運搬能力を増大させました。



宇宙航空研究開発機構（JAXA）提供の図を一部改変

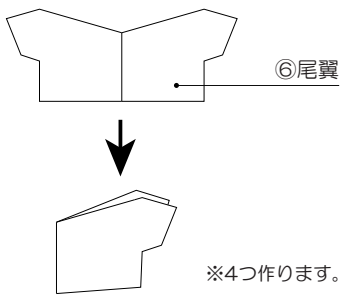
	M-3C	M-3H
全長	20.2m	23.8m
直径	1.41m	1.41m
全重量	41.6t	47.8t
打上げ能力	195kg	300kg
打上げた衛星	たんせい2号 たいよう CORSA※ はくちょう	たんせい3号 きょっこう じきけん
運用年	1974~79	1977~78

※M-3C-3のCORSAは軌道投入失敗
JAXAホームページおよび「スペース・ガイド2003」（丸善）掲載のデータより作成

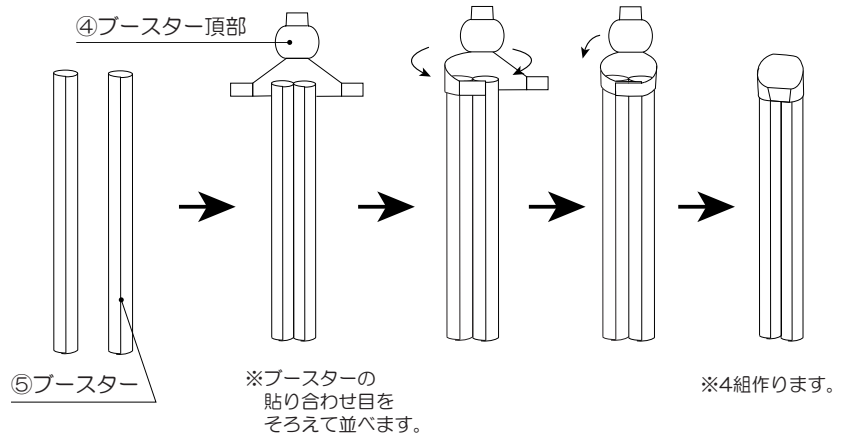
組立説明図

M-3C・M-3H共通です。

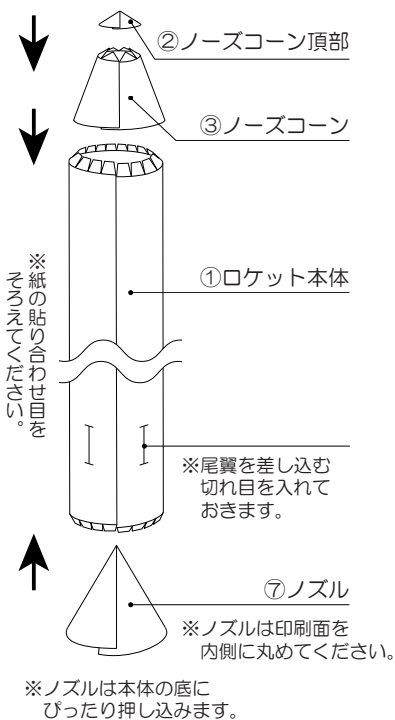
1. 尾翼の組み立て



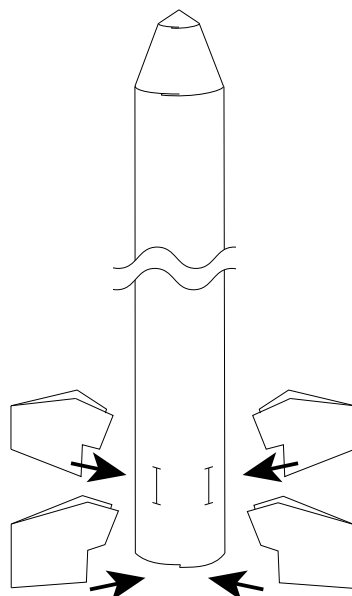
2. ブースターの組み立て



3. ロケット本体の組み立て



4. 尾翼の取り付け



5. ブースターの取り付け

